



1 穂波東校「小中一貫教育研究発表会」

研究発表会に向け、穂波東校の全職員の皆様には大変ご尽力いただきました。本当にお疲れ様でした、そして、心より感謝申し上げます。

当日は市内学校から 59 名、市外学校から 5 名、行政機関から 18 名の参加をいただきました。そして、多くの意見、感想が寄せられました。

寄せられた意見・感想

- ・ 協調学習の進め方（時間配分、指示の出し方）など参考になりました。
- ・ ジグソー活動後のホワイトボードの使い方が良かったです。「3つはキーワードを、中心には説明文を」とすることで見ている人に伝わりやすいため、質問が出やすいと思います。
- ・ 2年生活科を見せていただきました。流れがスムーズで「日頃から練習をしてあるのだろうなあ・・・」と思いました。
- ・ 社会科の協調学習をあまり参観する機会がなかったので、エキスパートの組み方等、参考になりました。
- ・ 中学年の協調学習の実践が参考になりました。時間の使い方など効果を上げるためには工夫をしていきたいと思います。
- ・ 美術の授業で、エキスパートの内容が生徒の声を基に作られており、新たな協調学習のスタイルを知ることができました。
- ・ Co-Learning Time、異学年交流学习（英語）が面白かった。8年・5年が同じテーマで各々に別の課題設定を行って授業を行っていた。意識すべき相手がいることで上学年にとって課題がより切実なものとなったり、下学年にとって上学年が助けになったりするのだと思う。本校でも行いたい。
- ・ プログラミング学習の進め方について参考となる方法を知ることができた。
- ・ 研究紀要には、小中一貫教育の取組がわかりやすくまとめられていて参考になった。
- ・ (研究紀要にある) 学習内容系統表で小学校から中学校の内容までの系統表は見たことがなかったので参考になりました。一貫校だけでなく、小学校にあってもいいと思いました。
- ・ 校舎内の掲示物、環境づくりなど工夫があり、小中一貫での取組、教育効果を上げられている様子がわかりました。
- ・ 案内が大変わかりやすく、迷うことがありませんでした。

※ この他にも多くの意見・感想等が寄せられました。嘉村教頭先生がそれらをまとめていますので、「グループウェアの掲示版」にアップしておきます。ぜひご一読下さい。

寄せられた意見・感想から、「日頃悩みながら小中一貫教育を進めている他校の先生方にとっては、穂波東校の取組は一つのモデル（手本）になったのかな！？」・・・と感じました。

これらかも寄せられた意見・感想を活かす等し、小学部・中学部で力を合わせ「穂波東校の土台を創る者としての使命」をしっかりと果たしていきたいと思いますので、先生方よろしくお願ひします。

2 穂波東校：異学年交流の創造

穂波東校で、また新たな異学年交流が創られました。「かけ算九九：異学年交流」です。11月26日から12月14日までの昼休み、中学部のボランティア(現在18名)の生徒が先生役となり、小学部2年生の「かけ算九九の暗唱」を聞いてやり、その評価や指導をしています。いわば、「かけ算九九の C-L Time：昼休み・ボランティア版」といったものです。児童も生徒も生き生きとした表情で取り組んでいます。とても素晴らしい光景です。先生方一度その様子を見に行かれて下さい。(会場は2年生教室)

